

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和61年7月14日

第16報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群本数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(珪) <i>Melosira granulata</i>	380	○	
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	80		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	40		
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	160		
(褐) <i>Oryptomonas erosa</i>	160		
(褐) <i>Oryptomonas</i> sp.	180		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	640	◎	○
(緑) <i>Oosterium aciculare</i> var. <i>subprorum</i>	80		◎
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	500	29.1	21.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	160	9.3	7.5
(褐) 褐色鞭毛藻綱	340	19.8	20.9
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	720	41.9	49.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1720	総体積	2.76E+06
種類数	8	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群本数(群本/ml)
- 注2) 優占種は○が第1優占種、◎が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
測定の推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	640

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira granulata</i>	380

植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ビワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Melosira granulata
(メロシラグラヌラータ)
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。